




### Ⅲ. 再発防止対策の実施状況一覧

#### 【表の見方】

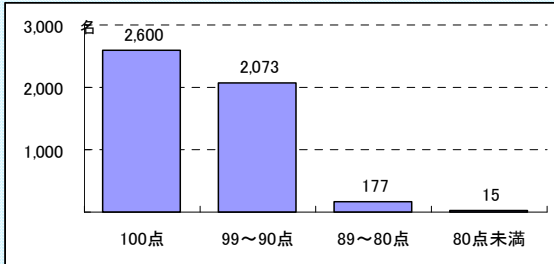
- （水色）は、今回説明資料に記載がある施策。
- （黄色）は、今回映像資料で検証いただく施策。
- 「実施内容」の番号欄の （桃色）は、H22.7.28に志賀原子力発電所にて視察いただいた施策。
- 「進捗率」欄の「3月末」は推定実績。
- 年間計画に基づく進捗管理を行わない施策および数値管理がそぐわない施策については、「確実に実施」欄に記載。



## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
1 迅速かつ確実な对外通報・報告の実施						
①	全ての異常事象を対象に第一報を発電所駐在の保安検査官、社内関係箇所へ通報	▶通報件数:1,207件 (月平均約120件)			○	>FAX送信記録・不適合処理書類等との比較により第一報の作成・通報漏れがないことを確認。 >発電所員に対する意識調査において否定的回答が減少しており、浸透・定着化が図られていることを確認。 *発電所員に対する意識調査「再発防止対策実施前後で隠さない・隠せない観点からの意識の変化はあったか」に対する否定的回答(形式的で変化なし)の割合 H19/9:3.7%⇒H22/9:0%
②	保安規定対象トラブルの発電所長から社長・本部長への報告	▶社長への報告:8回 ▶トラブル対応訓練:2回(H22/4,9)			○	>保安規定第120条に基づく報告が漏れなく行われていることを確認。
2 「トラブル対策会議」における運営ルールの徹底						
①	運営ルールに基づいた「トラブル対策会議」の確実な実施	▶対策会議開催数:22回			○	>第一報の内容から、対策会議が必要な事象の開催漏れがないことを確認。 >議事録・ボイスレコーダの記録から、判断者及び判断根拠が明確になっていること、記録が適切に保存されていることを確認。
3 発電所情報の国及び経営層・原子力本部への確実な伝送						
①	発電所情報の国及び経営層・原子力本部への確実な伝送	▶伝送実施中			○	>本店と志賀原子力発電所双方の蓄積データに相違がなく、発電所情報が確実に伝送されていることを確認。
②	警報等発信記録(アラームタイパー)情報の保存	▶保存実施中			○	>タイパー印字記録等の警報記録が全て保存されていることを確認。

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果										
			1月末	3月末												
4 原子炉主任技術者による保安の監督の徹底																
①	原子炉主任技術者による保安の監督の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷保安規定対象トラブルの社長への報告:8回</li> <li>▷保安監督状況の社長への半期報告:2回</li> <li>▷会議出席:保安委員会1回、保安運営委員会52回</li> <li>▷トラブル対策会議22回、プラント起動時評価会議9回</li> </ul>			○	▷保安規定第120条に基づく報告が社長に漏れなく行われていること及び炉主任の出席が必須となっている会議へ出席し、意見表明していることを確認。										
5 企業倫理情報窓口(ホイッスル北電)の継続																
①	企業倫理情報窓口(ホイッスル北電)の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷グループ会社へ対象拡大(H22/7~)</li> <li>▷コンプライアンス研修、グループ会社情報連絡会等を利用した制度説明を実施</li> </ul>			○	▷コンプライアンス意識調査から、認知度が上がっている(H19:89%⇒H22:98%)ことを確認。										
6 コンプライアンス教育の実施																
①	従業員へのコンプライアンス研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷集合教育から職場内教育へ移行し、コンプライアンス推進月間においてケース討議を実施(H22/6)</li> <li>◁受講者累計 4,767名/対象者合計 4,767名▷</li> </ul>	100%	100%		▷研修後のアンケート調査及び理解度調査の結果から、受講者の理解度が高いことを確認。 *職場内研修受講後アンケート 平均理解度6.6点(7点満点) *コンプライアンス理解度検査結果(H23/1月末) 理解度目標<80点>到達者分布(当社) <div style="text-align: center;">  <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>理解度検査結果(当社)</caption> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>99~90点</td> <td>2,073</td> </tr> <tr> <td>89~80点</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>80点未満</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> </div>	理解度	人数	100点	2,600	99~90点	2,073	89~80点	177	80点未満	15
理解度	人数															
100点	2,600															
99~90点	2,073															
89~80点	177															
80点未満	15															
②	階層別教育におけるコンプライアンス研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷7つの階層別教育で研修実施</li> <li>◁受講者累計761名/対象者合計795名▷</li> <li>(7つの階層別教育)</li> <li>新入社員研修、新入社員フォロー研修</li> <li>ステップアップ研修、中堅社員研修</li> <li>新任管理監督者研修</li> <li>新任特別管理職研修、特別管理職フォロー研修</li> </ul>	96%	100%												
③	コンプライアンス理解度検査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷H22/12~H23/1に実施</li> <li>▷目標(80点)未達者に再検査実施(H23/1)、未達者なし</li> </ul>	100%	100%												
④	グループ会社従業員を対象としたコンプライアンス研修実施の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷グループ会社への研修講師派遣等の支援を実施(グループ会社での研修受講者累計15社 1,853名)</li> <li>▷グループ大での理解度検査で理解度を把握、未達者についてはフォロー予定</li> </ul>	100%	100%												
						◁目標到達者率 当社99.7% グループ会社96.8%▷										

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
7 経営幹部及び管理職全員に対するコンプライアンス教育の実施						
①	経営幹部へのコンプライアンス研修の実施	▶コンプライアンス講演会 ・第1回(H22/6) 特管職以上560名/560名 講師:池田耕一氏『改めて、今なぜコンプライアンスなのか』 ・第2回(H23/1) 特管職以上552名/582名 講師:幸田真音氏『電力業界に求めるコンプライアンス～小説『235』の舞台裏から～』 ▶部店長研修 部店長44名/44名  <受講者累計1,156名/延べ対象者1,186名> ※未受講者はレポート等提出(以下教育関係は同様)	97%	100%		>研修後のアンケート調査結果から、受講者の理解度が高いことを確認。 *研修受講後アンケート 第1回研修 平均理解度5.6点(7点満点) 第2回研修は集計中
8 集団討議を中心とした各職場での自律的活動の実施						
①	グループ会社を含めたコンプライアンス・安全に関する職場単位の集団討議の実施・支援	▶集団討議実施回数:累計1,790回/計画1,496回 (*1月末の合計進捗率は進捗率100%超達成箇所を100%頭打ちで算定) ▶コンプライアンスリーダーに対し、事例配布や研修等を開催し支援 ▶グループ会社への支援として、「コンプライアンスメールマガジン」配布(毎月)、グループコンプライアンス推進会議を開催(H22/6)	99%*	130%		>集団討議では、各職場でテーマ作成や運営上の創意工夫が見られ、各職場において自律的活動として浸透・定着していることを確認。 >コンプライアンス意識調査において集団討議の役立ち度が高まっていることを確認。 (当社)H19:81%⇒H22:97% (グループ*)H21:82%⇒H22:86% *グループ会社、以下同じ
②	各職場での自律的取り組みの実施・支援	▶PIヘッドラインを通じた各職場(グループ会社を含む)の取り組み紹介:9件 ▶品質管理ポータルを通じた各職場の取り組み紹介:10件			○	>職場討議以外にも、職場ミーティングでの意見交換など各職場で様々な自律的取り組みが行われている。
9 コンプライアンスに関する誓約書の署名の実施						
①	全従業員がコンプライアンスに関する誓約書に署名	▶誓約書受領完了:4,938名	100%	100%		>コンプライアンス意識調査において役立ち度が高まっていることを確認。 (当社)H19:66%⇒H22:78% (グループ)H21:70%⇒H22:76%
②	グループ会社従業員によるコンプライアンスに関する誓約書への署名	▶誓約書受領完了:全社(22社)4,166名	100%	100%		

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
10 コンプライアンスメールマガジンの発信						
①	コンプライアンスに関する社長メッセージの発信	▶ 全社TV放送による社長メッセージ発信(H22/6) ▶ 社内メールによるメッセージ「久和NOTE」発信: 合計7回			○	▶ 計画通り発行され、コンプライアンス意識調査においても役立ち度が高まっていることを確認。 (当社)H19: 62%⇒H22: 89% (グループ)H21: 70%⇒H22: 77% ▶ 集団討議の実施状況から、討議のテーマとして有効に活用されていることを確認。
②	コンプライアンスに関する最新情報の発信	▶ メールマガジン発行: 14回/計画15回以上 ※コンプライアンス推進月間には毎週発行	93%	113%		
11 全社行動規範と原子力発電所業務規範の充実						
①	全社行動規範・事例集の充実	▶ 行動規範に基づく新規事例配布: 2事例			○	▶ コンプライアンス意識調査において行動規範等の役立ち度が高いレベルにあることを確認。 (当社)H19: 89%⇒H22: 98% (グループ)H21: 83%⇒H22: 88%
②	「志賀原子力発電所業務規範」の充実	▶ 業務規範改定のための題材を集約し、業務規範を改定(H22/11)			○	▶ 発電所各課職場懇談会等で継続的に活用されていることを確認。
12 部門間人事交流の実施						
①	事務部門と技術部門の交流、技術部門同士の交流の継続実施	▶ 志賀原への部門間人事交流継続中(12名) ▶ 電力流通部門と配電部門の人事交流継続中(2組)			○	▶ 関係者ヒアリングにおいて受入側・送出側双方から「良い刺激」「業務のやり方が参考になる」等の評価意見が出ていることを確認。
13 管理職の管理能力向上教育の実施						
①	OJT研修の実施	▶ 課長クラス対象のOJT推進研修、副課長クラス対象のOJTやり方研修 〈受講者累計1,311名/対象者合計1,422名〉	92%	100%		▶ 研修後のアンケート調査結果から、受講者の理解度が高いことを確認。 *研修受講後アンケート OJT推進研修 平均理解度5.9点(7点満点) コーチング研修 平均理解度6.2点(7点満点)
②	コーチング研修の実施	▶ 新任管理監督者研修、新任特別管理職研修、コーチングスキルフォローアップ研修 〈受講者354名/対象者合計356名〉	99%	100%		

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果										
			1月末	3月末												
14 経営トップからの「安全最優先」の強力な意志表明																
①	経営方針・経営計画での「安全最優先」の明文化・周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷H22年度経営計画の説明会:46回(グループ会社含む)</li> <li>▷H23年度経営計画への反映</li> </ul>	100%	100%		<p>▷各職場で安全に関する様々な取り組みが自律的に行われている。</p> <p>▷職場元気度診断(社内アンケート)において各指標が向上しており、安全最優先意識の浸透・定着度合いが高まっていることを確認。</p> <p>*職場元気度診断における評価&lt;5点満点&gt;</p> <p>・あなたの職場の同僚は業務の遂行に当たって安全を最優先している</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>職場元気度診断結果</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>4.15</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>4.34</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>4.45</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>4.48</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	評価	H19	4.15	H20	4.34	H21	4.45	H22	4.48
年度	評価															
H19	4.15															
H20	4.34															
H21	4.45															
H22	4.48															
②	社内報等による「安全最優先」の意志の周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷社内報 : 9回</li> <li>▷社内TV放送:21回</li> <li>▷ポータルサイト(社長メッセージ掲載):9回</li> <li>▷安全最優先ポスター(職場内掲示)、安全行動宣言カード(社員携帯)の制作・配布(H22/7)</li> </ul>			○											
③	安全文化の構築・劣化防止に向けた各職場での自律的な取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷品質管理ポータルを活用した好取組事例等の啓発情報発信:48件</li> <li>▷各職場に応じた啓発活動の実施:23回</li> <li>▷階層別教育での安全文化教育の実施:受講者335名</li> <li>▷職場元気度診断結果の各所へのフィードバック(H22/12~)</li> </ul>			○											
④	安全を最優先した工程の設定・運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷定期点検工程管理検討会にて工程の検討、必要な修正等を実施</li> </ul>			○	▷「工程管理実施要領」に従い、定期点検工程が修正・作成されていることを確認。										
⑤	地域への「安全最優先」のメッセージ発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷新聞広告:23回</li> <li>▷CM:テレビ713本、ラジオ346本</li> <li>▷原子力の報道公開:8回</li> <li>・志賀2号機マスコミ見学会</li> <li>・低レベル放射線廃棄物輸送作業</li> <li>・志賀1号機第12回定期点検安全大会 他</li> </ul>			○	▷安全最優先の姿勢に関する地域からの評価が向上していることを確認。										
						<p>*北陸電力に関する意識調査(WEB調査)における評価「安全最優先での業務取り組み姿勢」</p> <p>H21.6:49%⇒H23.1:58%(評価層の割合)</p>										

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
15 原子力本部、地域共生本部による地域と一体となった事業運営の推進						
①	原子力本部内の有機的な連携に基づく情報共有、意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷原子力本部連絡会:41回</li> <li>▷原子力本部実務者連絡会:28回</li> <li>▷業務ミーティング相互参加(原子力部, 志賀原):毎週</li> </ul>			○	▷地元の声を発電所運営に役立てるとともに、発電所情報をタイムリーに地元へ発信するため、連絡会等が定期的に行われていることを確認。
15-2 地域の皆さまとの双方向の対話活動の推進						
①	地元の皆さまとの対話活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷日常的な対話活動を推進</li> <li>▷志賀町ケーブルテレビによる適時的確な情報提供継続</li> <li>▷ミニコミ誌「ハマナスねっと」による情報提供継続</li> </ul>			○	▷地域の皆さまとの対話活動に関する評価が向上していることを確認。 *北陸電力に関する意識調査(WEB調査)における評価「積極的な対話活動」
②	地域の皆さまとの双方向の対話活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷北陸地域の有識者訪問:3回/計画年4回(全社)以上                              &lt;延訪問者数4,439名 地元有識者(再掲):2,328名&gt;</li> <li>▷各種団体訪問説明及び見学会:627回/計画年400回以上                              ・説明会(訪問等)385回(志賀町・隣接市町215回&lt;再掲&gt;)                              ・発電所見学会 242回(志賀町・隣接市町 51回&lt;再掲&gt;)</li> </ul>	75%	100%		

区分	評価層	中間層	否定層
H20.6北陸	32	50	18
H21.6北陸	54	36	10
H21.12北陸	56	35	9
H22.7北陸	57	36	7
H23.1北陸	62	34	4
H20.6能登	25	40	35
H21.6能登	53	31	16
H21.12能登	39	45	16
H22.7能登	47	43	10
H23.1能登	53	38	9

| 16 経営層と現場第一線社員とのフランクな対話の実施 | | | | | | |
| ① | 経営層と現場第一線社員との膝詰めの意見交換の実施 | - <原子力>対話実施:54回/計画37回 - <水力>対話実施:12回/計画16回 - <火力>対話実施:142名/計画160名 - <送変電>対話実施:267名/計画300名 - <情報通信>対話実施:92名/計画86名 - <配電>対話実施:15回/計画15回 - <営業>対話実施:18回/計画18回 - <中堅社員研修>5回/計画5回 | 146% | 151% |  | ▷対話が計画に基づき確実に実施されていること、対話後のアンケートにおいてほぼ全員の参加者から対話を評価する意見が出ていることを確認。 |



## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果										
			1月末	3月末												
17 発電所内の組織強化・増員																
①	志賀原子力発電所の組織強化・増員の検証・実施	▷ 保守部、発電課等の組織強化・増員を継続中			○	▷ 関係者ヒアリングにおいて「役職者増配置により、担当者がより相談しやすくなった」等の評価意見が出されていることを確認。										
18 事故・トラブル時の応援の着実な実施																
①	事故・トラブル時の応援体制の充実	▷ 応援人材リストの更新: 2回(H22/4,7)			○	▷ 応援人材リストの更新が確実になされていることを確認。										
19 品質管理の充実																
①	全社品質管理の推進	▷ 全社品質管理に関する社内規則点検 ・H21/7に制定した失敗事例活用連絡会運営要則等について運用状況や意見・要望を踏まえ改善策を検討 ▷ セルフチェック活動の充実 ・各部門での日常業務の点検、新施策等導入時のリスク評価実施			○	▷ 社内規則の点検など継続的改善に向けた取り組みが確実に行われていることを確認。 ▷ 各部門のセルフチェック活動が各所において適切に実施されていることを確認。										
②	保安活動に関する評価・改善の着実な実施	▷ 定期的な点検活動結果を踏まえた保安規程の改正(H22/7) ▷ 関係法令・保安規程の遵守状況等について、考査による確認実施中			○	▷ 保安規程の定期的点検・改正など規則類の整備が着実に行われていることを確認。 ▷ 品質管理部の考査等により、保安活動が各所において適切に実施されていることを確認。										
20 失敗事例に学ぶ仕組みの推進																
①	失敗事例の知識化・共有化による事故・トラブルの防止	▷ 失敗事例活用連絡会開催: 5回/計画4回	125%	150%		▷ 他社情報も含めたトラブル情報が部門間で共有されるとともに、事例検討会など現場での自律的な取り組みが行われていることを確認。 ▷ ヒヤリハット事例の登録が着実に進んでいることを確認。 *ヒヤリハット事例登録件数										
		▷ 失敗事例の職能教育での活用: 37回/計画43回	86%	100%												
②	失敗事例を言い出しやすい風土の醸成	▷ 先輩が語る私の失敗談紹介: 6回 ▷ ヒヤリハット事例登録: 575件			○	<table border="1"> <caption>ヒヤリハット事例登録件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20/3</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>H21/3</td> <td>991</td> </tr> <tr> <td>H22/3</td> <td>1691</td> </tr> <tr> <td>H23/1</td> <td>2266</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録件数	H20/3	212	H21/3	991	H22/3	1691	H23/1	2266
年度	登録件数															
H20/3	212															
H21/3	991															
H22/3	1691															
H23/1	2266															
③	電力各社とのトラブル情報の共有、水平展開	〈原子力〉 ▷ 当社原子カトラブル情報のNUCIAへの登録: 14件 ▷ 他社トラブルの水平展開検討: 40件 検討完了: 27件			○											
		〈水力・火力〉 ▷ 電事連での情報共有: 委員会参加: 6回			○											

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
21 外部組織による評価の活用						
①	電力中央研究所による経営層及び原子力部門の安全文化意識レベルの調査・評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>電中研アンケート調査実施(H22/10)</li> <li>原子力安全信頼回復推進委員会へ報告(H23/2予定)</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果から、安全文化意識が、全ての項目で前回レベル以上であり、全体として改善傾向にあることを確認。</li> </ul>
22 マイプラント意識向上のための施策の推進						
①	現場見える化活動の展開	〈原子力〉職場内問題点の見える化:抽出数27件			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査時等に各職場の日常業務の中で着実に実施されていることを確認。</li> <li>職場元気度診断(社内アンケート)において、「見える化」に関する指標が向上しており、マイプラント意識向上を目的とした活動の浸透・定着が進んでいることを確認。</li> <li>*職場元気度診断における評価&lt;5点満点&gt;</li> <li>「見える化」活動の定着度 H19:3.60点⇒H22:3.85点</li> </ul>
		〈火力〉機器等の開度表示等の見える化:22件 良好事例について他職場へ情報提供:3回			○	
	〈電流通・土木〉優良事例5件について現場見える化展開中 <small>※以下「電流・土木」</small>			○		
②	TPM活動の推進	〈原子力〉外部コンサルの実施:4回/計画5回	80%	100%		
		〈電流・土木〉外部コンサル指導会:15回/計画16回	94%	144%		
23 技術教育と部門横断的な法令教育の推進						
①	グループ会社を含む保安教育(技術教育、法令教育)の実施	〈品質管理部〉基本法令研修(入社2年次社員対象) <small>※以下「品管」</small> :125名/計画159名	79%	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>考査時に、各職場において社内規則や年度計画に基づく保安(法令・技術)教育のほか、各所に即した保守訓練等の教育が自律的に取り組まれていることを確認。</li> <li>教育後のアンケート等を踏まえ、教育の評価・改善が継続的に行われていることを確認。</li> </ul>
		〈原子力〉安全協定教育:69名			○	
		〈火力〉教育実施:3回/計画3回	100%	100%		
		〈電流〉教育実施:68回/計画84回	81%	102%		
		〈土木〉教育実施:7回/計画12回	58%	100%		
		〈配電〉教育実施:17回/計画19回	89%	100%		
②	法令知識の定着、確実な業務遂行	〈品管〉「法令手続情報提供システム」の利用者要望確認 ・今後のあり方についてアンケートによりニーズ把握			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムを活用した各部門での法令情報提供が引き続き行われていることを確認。</li> </ul>
		〈火力・電流・土木〉 「法令手続情報提供システム」登録内容の維持改善			○	

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
24 法令手続きの確実な実施						
①	許認可・届出の法令手続きの実施状況の確認	<原子力>「許認可・届出等手続管理細則」等に基づき実施中			○	>品質管理部の考査及び各部門の内部監査において、各職場において社内規則やチェックリストに基づき確実に法令手続きが実施されていることを確認。
		<火力>チェックリストに基づき実施:8件/確認対象9件	89%	100%		
		<電流>「申請・届出一覧表」に基づき届出実施中: 電事法:11件/計画11件 航空法:14件/計画16件	100%	100%		
		<土木>申請要否・申請状況を内部監査等で定期的に確認			○	
		<配電>「届出要否確認兼実績管理一覧表」に基づき点検: 0件/計画1件(3月予定)	0%	100%		
		<情通>「総合通信局申請・届出管理表」等による確認: 10回/計画12回	83%	100%		
25 原子力を支えるプロを育成する仕組みの推進						
①	他電力の良好事例の習得	>今年度から作業管理だけでなく原子力業務全般を対象として良好事例を調査:6回 ・厚生施設調査、原子力総合防災訓練準備等調査 他			○	>他発電所調査が確実に実施されていることを確認。
②	現場技術者の育成					
	a.現場技術力向上の取り組み	>上級者同行パトロール実績:176名/対象者207名	85%	100%		>研修後のアンケート調査や同行者評価等の結果から、受講者の理解度が深まり、異常早期発見の気付き力、現場監理技術の維持・向上が図られていることを確認。
		>気づき能力向上研修:47名/対象者40名	118%	125%		
	b.技術者倫理に関する教育を継続して実施	>「原子力安全文化・モラル研修」(技術者倫理等の集合教育):146名/対象者100名	146%	146%		>受講前後のアンケート結果や安全文化意識レベル調査(No.21)の結果から、技術者倫理意識が向上していることを確認。
c.現場技術技能保有者による継承活動の実施	>現場技術技能保有者(技術マスター)による継承活動実施中 >今年度新たに1名を認定(H22/8)			○	>技術マスター活動報告から、活動が特段の問題なく継続実施されていることを確認。	
③	法令を遵守するための保安教育の実施	>「関係法令及び保安規定・規程教育」の実施:113名			○	>研修後の試験結果から、受講者の理解が深まっていることを確認。
④	臨界事故防止に関する教育の実施	>「臨界管理教育」の実施:157名			○	*教育後の理解度テスト 全員が目標点(80点)以上達成<再テスト含む>

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
26 請負者との協働体制の推進						
①	請負会社との連携強化による知識・技能の継承	〈原子力〉事前検討会出席:61件/計画109件	56%	100%		
		〈火力〉定期点検着工前打合せでの指導確認、定期点検後の意見交換等:8件/計画8件	100%	125%		
		〈電流〉部門セルフチェック時に請負会社の指導状況確認:35箇所/計画41箇所	85%	100%		
		〈土木〉内部品質監査時に安全・品質上の指導状況を確認:19箇所/計画23箇所	83%	100%		
		〈配電〉屋外配線施工者(85社)への訪問点検:2回/計画2回	100%	100%		
		〈情通〉メーカーの品質管理状況の調査指導:5回/計画3回 新製品納入メーカーの品質管理状況調査他	167%	167%		
②	当社と請負者との責任区分を明確にした工事の発注・契約	〈原子力〉現場説明会等での手順等の解説:1回/計画1回以上 竣工検査の全数実施:588件	100%	100%		>各部門とも、日常の工事監理業務を通じた継続的な活動の中で、請負者とのコミュニケーションを図るとともに、責任区分の明確化、指導が行われていることを確認。 >ヒヤリハット事例の共有や工事後に請負者から当社への意見を収集する等、各所で自律的な取り組みがなされていることを確認。
		〈火力〉検査区分表による確実な検査実施:4回/計画4回	100%	125%		
		〈電流〉竣工検査の実施状況の定期的な確認:14件/21件	67%	100%		
		〈土木〉竣工検査の実施状況を内部品質監査時に確認:12箇所/14箇所	86%	100%		
		〈配電〉事業所訪問による竣工検査の実施状況確認:14箇所/計画14箇所	100%	100%		
		〈情通〉事業所訪問による竣工検査の実施状況確認:4箇所/計画4箇所	100%	100%		
③	元請会社の外注管理に対する確認・指導	〈原子力〉請負者への外部監査実施4社/計画3社以上	133%	133%		
		〈火力〉請負者への監査等を実施:1回/計画2回	50%	100%		
		〈電流〉下請会社までの適切な指示実施状況確認 TBM同席:1,023件、乗込時教育:553件			○	
		〈土木〉下請会社までの適切な指示実施状況を内部品質監査時に確認:19箇所/計画23箇所	83%	100%		
		〈情通〉請負業者安全衛生教育参加等:6回/計画4回	150%	150%		

## 再発防止対策(平成22年度)の実施状況

No	実施内容	1月末までの実施実績	進捗率		確実に実施	効果等の確認結果
			1月末	3月末		
27 臨界事故の再発防止対策の推進						
①	最新の手順書の適用・遵守状況の確認	▽品質保証パトロールによる確認(毎月) ▽作業手順書教育:172名			○	>パトロールや品質保証監査等により、最新の手順書に基づき作業を実施していることを確認。 >教育後の試験結果から、受講者の理解度が深まっていることを確認。 *教育後の理解度テスト 全員が目標点(80点)以上達成
		▽最新手順書による作業実施:1,237件			○	
②	作業管理システムを活用した作業管理の継続的改善	▽作業管理の改善事項を反映したシステム試運用開始(H22/12)	100%	100%		>実施すべきシステム改善が確実に行われていることを確認。
28 再発防止対策の定期的な評価・改善						
①	原子力安全信頼回復推進委員会による確認・評価	▽委員会開催:10回			○	>委員会が定期的に行われ、再発防止対策の実施状況確認と適切なフォローが行われていることを確認。
②	再発防止対策検証委員会による検証・評価	▽志賀原子力発電所視察会を開催(H22/7) ▽第12回委員会開催(H23/2)			○	